

いきいき男女共同参画

第2次飯山市男女共同参画計画策定記念講演会開催

「第2次飯山市男女共同参画計画」策定記念講演会・第12回女性センター未来文化講演会が開催されました。はじめに計画策定委員長の田中清見さんは、「計画策定時、皆さんの声を聞くと、意識の面で共同参画はまだであるとお聞きしている。皆さんの意識をどういう風にしていくか。人間の意識を変えていくことはなかなか大変ですが、これからこの計画に基づいて、学習会をしながら、男女共同参画が一步でも前進していくことを願っている。過日、東京都文京区長が育休を、職員にも勧めたいという思いで自ら取られた。テレビで『保育をしながら働いている女性の背中』は、大きく温かく見えた。」と、男女共同参画の行き着くところが凝縮されているような言葉だ。女性の背中が、大きく

温かく見えることを実現するのが男女共同参画の具体的な手立てになると思う。」と話されました。その後、笑福亭松枝さんが、「共同参画で四角じゃない丸い社会」と題して講演されました。落語・酒飲み、断や自らの体験など交えて、様々な角度から共同参画を話の端々に盛り込みながら、会場の人々を笑いの渦に巻きこみました。要旨は次のとおりです。



講演を聞く大勢の参加者

「共同参画で四角じゃない丸い社会」参加と参画

参加と参画は違います。参加はワールドカップやオリンピックくみだいにすることが参加、出席。参画は自分の意見、自分の主張を堂々と発表してそれを反映させることが出来る可能性のある参加の仕方なんです。

男は生き方が下手

男は軽々しく笑うものやない。男は女と違って背負うもんが多いんや。男は我慢せいで、歯を食いしばれ。これは男にとつても悲劇だったと思うんですよ。諺、女にもひどいが男にもしんどかつたんですよ。

息子に教えられ

昔のことを思うと女房に頭上がらない。修行時代、お金なくて当たり前。劣等感、焦りあつたんでしょ。女房が失敗した時、息子が「あーよかった。お父さん怒らなかつた。僕、嬉しいわ。」なんのこつ



話す笑福亭松枝さん

女房に助けられ

ある日、息子が「ねえ、お母さん、僕とお父さん落語家やろ。どうしてテレビ出さへんの。」ちよつと辛いですね。女房は「お父さんは落語一生懸命やる落語家。落語家は2通りあつて、落語を一生懸命やる落語家とテレビに出る落語家ある。分かつた?」「うん、分かつた。小学校3年生。分かつてないですよ。でもその答えて納得せないかんことを

分かつたと思う。何で何でと言つたら、母親が困るということに分かつたと思うんですよ。ですから、私は女房に助けられ、子どもに教えられた。共同参画すべては人権

人が集まること、大事なことです。大人が集まって和氣藹々としていると、子どもは安心する。かけ離れているかも知れんけど、最終的には人権なんですよ。男女だけやない。すべて人間は対等な構成員なんです。大人も子どもも自らの意思によつて、あらゆる活動に参画する機会が確保され、文化的利益を享受することができ、かつ責任を担うべき社会を・・・願っています。

【参加者の声から】

▼さすがプロ、存在感があつた。
▼笑いながら男女共同参画が聞けた。その実とても奥深かつた。
▼楽しく聞け、考える機会を与えていただいた。

…インタビュー…

お互いが利用しやすい「未来」を創る 男女が共に参加できる拠点目指して

女性センター未来は、利用者の主体的な関わりがなければ運営できません。「女性センター利用者団体連絡会」は、利用者の積極的な参加を促し、団体相互の交流の場としての役割を担っています。同会会長の池田暢子さんに『未来』に求められる姿について伺いました。

求められる未来の役割とは

池田会長 「市外の友人に言われたことがあるんです。『飯山は、活動する場が身近にあつてうらやましい』って。そんな時には、自分はそんな恵まれた環境にいるんだ、身近に施設が無い人から見れば、うらやましいんだなって、意識するんです。

いま、47団体が女性センター未来を拠点として、さまざまな活動を行っています。趣



女性センター未来利用者団体連絡会

会長 池田 暢子 さん

味や学習、子育てに関することなど内容は多様です。ただ、活動に違いはあつても、それぞれの団体には共通の思いがあります。それは、『未来』をより使いやすい施設にして、もっと多くの人に男女共同参画への活動に参加してほしい、ということなんです。

使いやすい施設目指して

「利用者団体連絡会の委員は、各種団体の分野ごとに1名選出し、計5名で組織しています。委員になれば、自分の所属団体だけでなく、もっと大きな目で未来の運営を考えるようになります。

各団体や利用者同士の交流は、未来の円滑な運営に欠かせません。だから、

研修視察等を開催して親睦を深めたり、新しい知見を得るきっかけづくりに取り組んでいるんですよ。

若い人の参加を

「私は、20代の人に、もっと未来を活用してもらいたいと思つています。子育てで忙しく時間に余裕のない年代ですが、同じ目的を持つ人たちが未来に集まっていくな話をして、情報交換をしてもらうのは大切なことだと思ふんです。多少時間に余裕ができれば、やりたい講座を見つけて、それを張り合ひにできる。働きながら楽しめるのが本来の『未来』という場です。

未来を通じた楽しみ持つて

「いまは、女性だけの『未来』ではありません。男女共同参画の時代の流れの中で、男性の参加も強く求められています。男女双方のために、未来をより良くしようという意識を持つて、連絡会でも前向きで積極的な意見が提案されています。そんな意見を実際の『未来』の運営に生かしていきたい。働くだけでなく『未来』を通じて楽しみがある。すべての男女にとつて、『未来』の存在は大きいのです。」

パワーアップ講座「簿記3級」始まりました

女性センター未来で募集した「日商簿記検定3級」パワーアップ講座が6月から始まつています。

今回は、6人の参加者があり、講師を務める社会保険労務士の江村登三(みお)さんの指導の下、10月15日までの長期間の学習を進めていきます。

介護の「基本理念」から「現場」まで ホームヘルパー2級養成講座始まる

家庭で介護を必要とする要介護者宅を訪問し、生活全般の介護サービスを提供する基礎資格・ホームヘルパー2級。



初回の講座の様子。真剣な面持ちで聞き入る受講生

その資格養成講座が女性センター未来で始まりました。初日の6月25日には、受講生19人が開講式に臨み、引き続き第1回講座を受講しました。「福祉理念とケアサービスの意義」と題する長野県介護福祉士会会長の畠山仁美さんの講義では、「介護の基本理念をしつかり勉強し、現場で介護技術を育てていきしょう」と激励を受けました。

講座は、現場での実習を含め10月28日の修了式まで行われ、全科目の修了者には、「訪問介護員養成研修2級課程修了証明書」が交付されます。

人権政策課男女共同参画係
電話：0269-62-3111
FAX：0269-62-5990
(内線 371)

E-mail：
jinken@city.iijama.nagano.jp

いいやま女性センター未来
飯山市大字飯山 1431
電話・FAX：0269-62-0543

E-mail：
center-mirai@city.iijama.nagano.jp